

## まつり特別委員会 担当副理事長方針

菱田 高志

先輩諸兄が、これまで熱い思いをもって多くの市民を巻き込み、継続してきたことで、夏の風物詩となったおいでん祭。新型コロナウイルスの影響により、まちにとって当たり前になっていた本祭の2年続けての中止は、おいでん祭を通じて育まれてきた郷土愛について改めて考える機会となりました。おいでん祭に携わる演者の方々や楽しみにしている市民の方々のためにも、本年度、華々しく再スタートを切らなくてはなりません。そのためにも、まずは私たち自身が、演者の方々や市民の方々の笑顔を思い描き、おいでん祭を本気で楽しむことが大切です。そうすることで、中津川に笑顔が溢れ、誰の心にも繋がるふるさとのまつりとして再び歩み出せると考えます。

私は青年会議所の活動を通して様々な出会いや、挑戦する機会をいただく中でこれまで知らなかった自身の可能性に気づかせていただきました。私は副理事長として、仲間と共に挑戦し、乗り越えた先の新たな自分に出会っていただける機会をメンバーに提供してまいります。

### <まつり特別委員会>

各団体との対話を通して、その思いを具現化できるおいでん祭を形作っていただきたい。その上で、おいでん祭に携わる方々の思いを胸に、中津川青年会議所として、やるべきことを明確にしていきたい。